

目標達成計画

作成日: 平成 28年 6月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11 (7)	今後は、新しい管理者の就任で全職員が良好な人間関係を保ちながら、利用者の満足度の向上を目指し、サービスの質を高め、「介護・援助をエンジョイ」出来る様な職場環境を創り、職員の定着を図る取り組みが期待される。	足りない技術は学ぼう！足りない知識は得ていこう！前を向いて、可能性に向かって今の仕事をより良いものにしていこう！	週一回のミーティング又は介護援助の都度、介護技術相談・指導を受ける	24ヶ月
2	11 (7)		利用者の足りない処を補うことで病気・怪我のリスクを減らし、より良い生活を送って頂ける「介護・援助の重要性」を知る	週一回のミーティング又は介護援助の都度、利用者の心身の状態・人生背景を話し合い、観察し、声掛けすることで病気・怪我のリスクを減らし「介護・援助の重要性」を知る・確認する	24ヶ月
3	11 (7)		職員間で良い介護・援助を認め、誉め、学ぶ	週一回のミーティング又は介護援助の都度、職員同士で互いに声掛けする	24ヶ月
4	36 (14) 40 (15)	食事が楽しみになるように管理栄養士が作成した献立表を基に利用者様の好みの反映や利用者様の残存能力の活用を行えているが、安全安楽を追求するあまり、のど詰めを繰り返す利用者様に対しグローブを装着して食事介助を行ったり、食堂から移動せずガーグルベースで口腔ケアを行う場面があった。	外来者から見てそよかせが「特殊な介護の空間」ではなく、「再び訪れたい共同生活の場」となりたい	グローブは利用者様に対するとき常に装着するのではなく、感染予防の場面でのみ装着する	6ヶ月
5	36 (14) 40 (15)		外来者から見てそよかせが「特殊な介護の空間」ではなく、「再び訪れたい共同生活の場」となりたい	口腔ケア・排泄介助等、利用者様のプライバシー及び外来者の不快に感じる場面は利用者様の居室および洗面所・トイレ等で行う	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。